

2025年12月29日(月)

老球の細道901号

会津協会トップアスリート講習会⑥最終回終了

会津バスケットボール協会 室井富仁

U-18 ウィンターカップ女子決勝戦、大阪薫英女学院が桜花学園、京都精華学園など強豪校を倒し初優勝した。外国人留学生なし、180cmのビッグマンなしによる快挙である。コーチの安藤香織さんは、高校生時代「打倒・薫英」を目標に、大阪府立大塚高校で薫英を倒し、インターハイに出場している。

安藤コーチはなかなか優勝できなかった時、周囲から「外国人留学生を入れては」との声に耳を貸さなかった。公立のように限られた戦力で伸ばし、勝利を目指すスタイルにひかれるからだと言う。留学生や他地区からタレントをリクルートすることなど困難な会津地区においても、地産地消、ミニから高校まで一貫指導、どこにチームでもハイレベルな指導を受けられるコーチの育成などで、全国レベルのチームが育成できるのではないだろうか。

そのような思いを抱きながらスタートした「トップアスリート講習会」全6回が27日(土)無事終了した。約60名の参加者と15名のコーチングスタッフからスタートしたが、最後は約40名の選手、11名のコーチで行われた。

最終回のテーマは「チームオフェンス・ファンダメンタル」であった。レベルが上がるとディフェンスのハリーバック、チームディフェンスが強くなり、ハーフコート5:5で攻撃する状況がたくさんあらわれてくる。そんな時にチームオフェンスのルールができていないチームは「ボールマンにオフボールマンが集まり邪魔をする」「オフボールマンがどこに動いたらよいかわからない」という問題が必ず起こる。それを解決するチームオフェンスのファンダメンタルが、一つは「ドライブ&スペーシング」、ボールマンがドライブした時にオフボールマンが「サークルルール：4Dルール(Drive、Drift、Drag、Dish)」に従ってスペースをとりながら合わせる。もう一つは「パス&バスケットカット+フィル」、パスした選手はバスケットカット、それ以外の選手はトップ、左右ウイング、コーナーの5スポットをうめてフロアバランスをとる。

初めて練習する選手が多くいた。コーチの指導を熱心に受けて、短時間であったが、なんとか基本中の基本ルールは習得することができたと思う。鉄は熱いうちに打て。

最後に、いくつかの反省をあげる。もし来年度も実施するのであれば検討する余地あり。

*当初、中学生の高校へのつなぎ、土、日曜日の学校外での練習充実ということを念頭に

参加者募集したのだが、ふたをあけたら中学生は女子3名。ほとんどはミニの5、6年であった。中学生は自チームで高度な練習をしているので必要がないかもしれない。

*地元の若手指導者の育成も目標に上げたが、私のプログラムのレベルが低かったせいか熱心に参加して、子どもたちと一緒に指導してくれるミニ、中学の若手コーチは少なかった。

会津協会技術委員会の皆様、運営ありがとうございました。爺様にたくさんの学びと感動を与えていただきました。「感動は動かなければ見つからない。燃えなければつかめない」。